

中国自動車産業のインターネット・プラスの潮流

皆さん、こんにちは。私は経済学部の留学生蘇帆と申します。今日の発表するテーマは中国自動車産業のインターネット・プラスの潮流です。

このテーマを選んで理由は二つあります。一つ目は高校時代から、私は非常に自動車産業に興味を持っています。

二つ目は、日本に中国の自動車産業について理解して欲しいと思います。今の中国自動車産業は日本より弱いですが、中国は世界一番の自動車マーケットになって、インターネット・プラスという潮流になって、そして政府の政策と民間資本や関係会社に投入するので、日本を追い上げるかもしれないと思います。

皆さんはインターネット・プラスはご存知ですか。インターネット・プラスは IT 会社が自らしたり、他の会社と提携したりして、伝統的な産業とインターネット技術を組み合わせるといふビジネスです。最近、インターネット・プラスに基づいた中国自動車会社が二つ設立されました。

一つは中国のメディア会社が投資した NextEV という電気自動車メーカーです。資本総量は 5 億米ドルで、この会社は 1000 馬力の電気スポーツ・カーを目指して、日産の GT-R より強くなります。もう一つはビデオ・サービス会社が投資した Faraday Future です。資本総量はより多くて、10 億米ドルになります。欧米大手の元技師を雇用しました。そして、もちろん電気自動車を目指します。

つまり、これらの会社の特徴は投資家は IT 会社で、資本が豊かで、製品が電気だけを使って、インターネットに接続できます。中国の IT 会社はインターネット・プラスにより自動車をスマートホンようなインテリジェント端末装置にしたいのです。ですから、皆さんにこの新しいビジネス潮流を理解して欲しいと思います。

以上です、ご静聴ありがとうございました。